

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		HIYOKO STUDY館下教室				公表日	2026年	6月	2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・児童数に合わせて部屋を分けたり、広く使用したりなどの工夫をしている。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			・人力的には十分であるがシフトの工夫が必要であると感じる。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・スケジュール等は児童に見やすいよう掲示している。 ・トイレが1つしかないためこまめに声がけ等は行っている。	・混雑時は徒歩1分程の駅のトイレを使用する時もあるが児童によっては難しい場合もあるため改善策が必要と感じる。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・掲示物を付け過ぎず程よい景観を保っている。	・車内の汚れが気になる時があるため清潔に保てるようにする。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・児童の状況によって個室は常に使用できるようにしている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・支援計画が目につく工夫がされているため、支援計画に基づくPDCAサイクルが日々職員間で行われている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎年評価表の配布を行い、頂いた意見をもとに業務改善を行っている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・職員間での意見交換は日々行っている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		・令和8年5月現在実施しておりません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修の機会は多くあると感じる。 ・毎月の必須研修があり、当日欠席した職員も回覧して全員が内容の把握を行っている。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・事業所のホームページに公表されている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・細かくアセスメントを行い、課題等を分析した内容を計画書に反映させて作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・4月と10月の計画書更新のタイミングに職員間でモニタリングの内容と新計画書（案）の共有を図っている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・支援計画は全職員が都度確認できるようになっているため、内容にあった支援が日々行える環境になっている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			・日々の打ち合わせ等で情報を共有しているがそれだけでは不十分にも感じる。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・適切な支援内容が設定されている。				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・担当がだまかな内容を立案しているが詳細に関しては他職員も加わり話し合いながら決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・固定化しないよう工夫しながら毎月の活動を考案している。 ・季節に合わせた活動を取り入れるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個々の状況に合わせた計画書の作成、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・毎日朝礼で打ち合わせを行っている。朝礼に参加できない職員に対しては出勤した際に情報伝達を行っている。 ・職員間で話し合い日々改善につなげている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・情報共有は日々行っている。支援終了後に難しい場合は翌日に行う時もある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・記録は全職員で行っている。記録を見返しながら支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・年2回計画書作成のタイミングには必ず行っている。必要に応じて追加で行う場合もある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2		・地域との関わりが難しいため悩んでいる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・支援中、様々な場面で自己決定できるような場面を設けて支援を行っている。 ・始まりの会の司会など自主的に活動に参加できるよう促す支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児童発達支援管理責任者が参加している。 ・担当者会議前には職員間で話し合いを行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・協力医療機関の締結をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校送迎時等に児童の様子や共有事項についての確認を都度行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・利用児童の情報に関しては、利用開始前に関係機関との情報共有を入念に行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・就労先事業所との情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		・関わりが持てていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		・児童館との交流は難しいと思うが会社内の放デイ同士での交流は行っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		・参加の検討をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・ご自宅への送迎の際に保護者様と情報共有を行い、共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・保護者様向けのペアレントトレーニングのお知らせを掲示するなどしている。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際に詳しく説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・保護者様からはもちろん、可能であれば児童からもそれぞれの意向を聞き取れるようアセスメントを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・新しい計画書が作成された場合、書面を提示しながら説明を行い同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・送迎や面談等の際に必要なに応じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	・3月に卒業お祝い会を行い卒業生の保護者様対象に参加していただき交流を図っている。	・対象人数に限りがある為、全児童のご家庭への促しができていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情解決責任者の設置をおこなっており、苦情があった際には適切な対応が出来る環境を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・SNSを活用して情報発信を行っている。 ・個人あての連絡用ツールで活動の様子等も発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報に関しては全職員が十分に留意して取り扱っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・児童ひとりひとりに合わせた情報伝達の配慮が行われている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・地域との関わりは少ない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			・家族への周知がまだ不十分な気がする。 ・定期的に知らせることが必要と感じる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・業務継続計画の作成を行い、必要に応じた訓練も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		・全員の現状把握ができていない場合がある為、定期的に情報の共有を図っていきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・食物アレルギーの児童の対応として医師よりエピペンの研修を受講している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画のもと安全管理が行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・契約時等に周知は行っている。	・定期的な周知が必要とも感じる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・事例があった場合は都度報告書を作成し、事業所内での情報共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・全職員が研修を受講している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・計画書への記載を行い、保護者様への説明等も行っている。 ・身体拘束に対する研修も行っており、全職員が共通理解をしている。	